

科目番号	A101A								
科目名	国語表現								
担当教員	有方 秀樹		所属等	日ノ本短期大学 元教授					
科目区分	一般教養			人材養成の方針	即戦力	リーダー	地域貢献		
対象学年	1年			授業形態	講義・演習				
開講時期	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	単位数	2			
授業時間数	15コマ		(30 単位時間)						
実務経験のある教員による授業科目	-		左の実務経験の内容		-				
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	-		左の実務経験の内容		-				
実務経験を活かした授業内容									

目的	的確な文章表現を行う					
概要	相手に自分の思いを伝える手段として的確な文章を書く方法を学ぶことにより、自己表現の向上を図る。手法として、文章を如何に正確に書くか、自分の考えをどのように適切に表現し相手に伝えるかなどについて、様々な学習形態を通じ、書く力を鍛え、語彙力を豊かにし、バランス感覚を磨く。					
キーワード	基礎的な文章作法・課題解決能力					
関連する科目						
到達目標	-	森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得				
	-	森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得				
	-	多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得				
評価方法	試験50% 出席・提出物50%					

授業計画	テーマ	講義内容
1	レポート基本書式	説得力がある文章を書くための表現や構成を学ぶ
2	テーマ決定	作成のために必要な資料収集方法を学ぶ
3	アンケートの取り方	論拠とは何かを学び、データの適切な論拠を示す力をつける
4	文書表現	主張の論拠を示す引用について、基本的な方法を身につける。
5	自己紹介	アンケート調査を適切に実施する力をつける。
6	表記と言葉づかい	身につける必要のある文章表現力を認識する。
7	自己紹介	自己紹介を通して具体的に表現する方法を学ぶ。
8	表記と言葉づかい	表記と言葉づかいの基本を学ぶ。
9	文書力	印象良い文章を書く姿勢をつける。
10	情報整理	多くの情報を整理し、見やすく示す方法を学ぶ。
11	情報整理	重要な情報を確実に伝えるための効果的な方法を身につける。
12	情報の優先順位	情報の優先順位を考え、表現や伝え方を工夫する。
13	文を書く	読みやすい文を書く姿勢を身につける。
14	他者に伝える	読んだ人がスムーズに行動できる文章の書き方を学ぶ
15	課題提出	相手の立場になって理解する態度を養う

テキスト	有方秀樹著 冊子「文書表現法 ~思いを伝える~」
参考書	授業に即応した資料をその都度提示する
関連する資格	
備考	

担当: 平野

科目番号	A 1 O 2 A						
科目名	英語 1						
担当教員	野谷 るり子		所属等	県立森林大学校 専任教員			
				#N/A			
				#N/A			
科目区分	一般教養			人材養成の方針	即戦力	リーダー 地域貢献	
対象学年	1 年			授業形態	講義・演習		
開講時期	4 ~ 6 月	7 ~ 9 月	10 ~ 12 月	1 ~ 3 月	単位数	2	
授業時間数	1 5 コマ			(3 0 単位時間)			
実務経験のある教員による授業科目			—	左の実務経験の内容	—		
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無			—	左の実務経験の内容	—		
実務経験を活かした授業内容							

目的	幅広く社会で活躍できるリーダーとなるため、また、世界を視野に「兵庫の森林、林業」を発展させる素養を身につけるため、読解を中心に共通語としての英語に精通させる。	
概要	世界の文化・芸術に関する英語の読物を学ぶことにより、「読む」「聞く」「書く」を中心とした英語力の伸長を図る。	
キーワード	グローバルな視野を持ち、積極的に表現する機会を活用する。	
関連する科目	2年時の英語2と海外研修	
到達目標	—	森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得
	—	森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得
	—	多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得
評価方法	1. 出席率（積極的に授業に参加し、履修すること）(15%) 2. 毎回の授業や英語活動への取り組み状況、ワークブック、プリントなど提出物(20%) 3. 定期テスト(50%)、小テスト(15%)での達成度	

授業計画	テーマ	講義内容
1	Introduction	授業の概要、シラバスの説明
2	Cities	「都市」 読解とワークブック演習
3	Indoors	「室内」 読解とワークブック演習
4	Indoors	「室内」 読解とワークブック演習
5	Still Lifes	「静物画」 読解とワークブック演習
6	Still Lifes	「静物画」 読解とワークブック演習
7	Light	「光」 読解とワークブック演習
8	Light	「光」 読解とワークブック演習
9	Movement	「動き」 読解とワークブック演習
10	Movement	「動き」 読解とワークブック演習
11	英語で理想を語る	英語スピーチ読解と個人スピーチ作成準備
12	英語で理想を語る	自分の夢を語るスピーチ原稿作成及びプレゼンテーション練習
13	Activities, Words quiz	内容理解の確認、単語・熟語・英作文小テスト
14	英語で理想を語る	自分の夢を語るスピーチプレゼンテーションと評価
15	試験	筆記試験（単語・熟語・英作文を含む）

テキスト	Oxford Read and Discover Our World In Art (教研出版) 全56ページ
参考書	英和（和英）辞典を持ってくる（電子辞書も可）。スマートフォン使用は授業中禁止。
関連する資格	
備考	必要事項を書き込むノート、配布プリント等を綴じるファイルの用意が望ましい。

科目番号	A 1 0 3 A					
科目名	情報処理学					
担当教員	新見 満		所属等	県立森林大学校 森林教育専門員		
科目区分	一般教養			人材養成の方針	即戦力	リーダー 地域貢献
対象学年	1 年			授業形態	講義・演習	
開講時期	4 ~ 6 月	7 ~ 9 月	10~12月	1 ~ 3 月	単位数	2
授業時間数	1 5 コマ			(3 0 単位時間)		
実務経験のある教員による授業科目			—	左の実務経験の内容	—	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無			—	左の実務経験の内容	—	
実務経験を活かした授業内容						

目的	Wi ndowsパソコンを用いた文書作成、表計算、プレゼンテーション資料作成の基本を習得する。	
概要	Wi ndowsの操作に慣れることから始め、Office (Word、Excel、Powerpoint) の基礎を身につけるとともに、インターネットの安全な活用法を実習形式で学びます。	
キーワード	①情報処理とは ②Wi ndows基本操作 ③データ処理ソフト、プレゼン用ソフト基本操作 ④安全なインターネット活用 ⑤プレゼン用資料作成 ⑥プレゼン方法	
関連する科目		
到達目標	—	森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得
	—	森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得
	—	多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得
評価方法	出席15%、課題提出55%、履修態度30%	

授業計画	テーマ	講義内容
1	Wi ndows 基本操作	起動／終了、キーボードとマウスの使用法、保存、コピー、カット
2	W o r d 基本操作	文書作成
3	W o r d 応用操作	文書作成
4	W o r d 応用操作	文書作成
5	E x c e l 基本操作	基本操作 (セル入力、表の作成など)
6	E x c e l 基本操作	数式、集計、並び替え、フィルター、グラフ、図表貼り付け等
7	E x c e l 応用操作	数式、集計、並び替え、フィルター、グラフ、図表貼り付け等
8	E x c e l 応用操作	数式、集計、並び替え、フィルター、グラフ、図表貼り付け等
9	P o w e r P o i n t 基本操作	プレゼンテーション作成
10	P o w e r P o i n t 基本操作	E x c e l で作成した表やグラフをPowerpointに貼り付け
11	P o w e r P o i n t 課題作成	簡単なプレゼンテーションの作成
12	P o w e r P o i n t 課題作成	簡単なプレゼンテーションの作成
13	P o w e r P o i n t 課題作成	簡単なプレゼンテーションの作成
14	P o w e r P o i n t 課題作成	簡単なプレゼンテーションの作成
15	課題発表	

テキスト	できるWord&Excel &PowerPoint2016 for wi ndows10/8.1/7対応 (インプレス)
参考書	学生のための情報リテラシー office 2016/Wi ndows 10版
関連する資格	
備考	

科目番号	A 1 0 4 A					
科目名	数学					
担当教員	菅生 安展		所属等	兵庫大学 エクステンション・カレッジ講師		
科目区分	一般教養			人材養成の方針	即戦力	リーダー 地域貢献
対象学年	1 年			授業形態	講義・演習	
開講時期	4 ~ 6 月	7 ~ 9 月	10~12月	1 ~ 3 月	単位数	2
授業時間数	1 5 コマ			(3 0 単位時間)		
実務経験のある教員による授業科目			—	左の実務経験の内容	—	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無			—	左の実務経験の内容	—	
実務経験を活かした授業内容						

目的	基本的な数学の概念を森林の現場で活かせる形で理解する					
概要	数学の基本的な内容を森林に関連する具体的なテーマと結びつけながら学びます 森林の測量、成長予測、統計解析などの実践的な問題を通じて、数学的思考力を養います					
キーワード	三角比（測量・樹高測定・傾斜計算）、関数（一次・二次・指數関数の応用） 確率・統計（森林調査・データ分析）、座標とベクトル（測量・地理情報システムGIS） 最適化（森林管理・伐採計画・生態系のバランス）					
関連する科目	測量学、森林計測学					
到達目標	—	森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得				
	—	森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得				
	—	多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得				
評価方法	筆記試験70%、授業態度10%、出席10%、提出物10%					

授業計画	テーマ	講義内容
1	オリエンテーションと森林数学の基本	森林で数学の活用例、必要な数学スキル整理、具体的な計算例の紹介
2	比と比例 - 樹木の成長と面積計算	比例と反比例、面積や樹木に関する計算、土地測定の単位換算 (m^2 , ha)
3	一次関数 - 樹木の成長予測	一次関数(式とグラフ)、年数と樹高関係、森林資源の成長予測
4	二次関数 - 樹木の成長モデル	樹木成長を二次関数で表現、伐採時期の最適化、最大値・最小値の求め方
5	三角比① - 測量と樹高の測定	三角比の基本 ($\sin \cdot \cos \cdot \tan$)、簡易測量法(高さを測る方法)、演習
6	三角比② - 森林の傾斜計算	斜面の角度測定、地形データを活用した計算、三角比の応用問題
7	座標と距離 - 地図と測量	座標平面の基本、距離の計算と森林内の経路分析、演習
8	確率と統計① - 森林調査とデータ分析	確率と統計の考え方、樹種構成の確率計算、サンプリング調査の方法
9	確率と統計② - 平均・分散・標準偏差	データの平均・中央値・最頻値、成長速度の分散を測る、分析
10	指數関数 - 森林成長とCO ₂ 吸収量	指數関数の基本、森林の炭素吸収量の計算、現実のデータをモデル化
11	最適化問題 - 森林管理の数学	森林資源を最適に使う方法、伐採と植林のバランス、線形計画法の基礎
12	面積と体積 - 森林資源量の計算	木材の体積計算(円柱・円錐)、森林の資源量の推定、土地の測定方法
13	ベクトルと森林地図	ベクトルの基本と応用、森林測量の計算、地形データの解析
14	実践演習(データを使った数学的考察)	これまでの内容を使った実践課題
15	試験	

テキスト	講義の際に資料を配付
参考書	
関連する資格	
備考	

担当: 平野

科目番号	A 1 0 5 A					
科目名	生物学					
担当教員	井上 裕司 渡邊 雄一郎	所属等	県立森林大学校 主任森林教育専門員 (株)一成			
科目区分	一般教養			人材養成の方針	即戦力	リーダー 地域貢献
対象学年	1年			授業形態	講義・演習	
開講時期	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	単位数	1
授業時間数	8 コマ			(1 6 単位時間)		
実務経験のある教員による授業科目	—		左の実務経験の内容		—	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	—		左の実務経験の内容		—	
実務経験を活かした授業内容						

目的	森林を構成する植物、樹木をはじめとする生物に対する理解を深める。		
概要	生物学とは何か、また、細胞レベルから生態系のレベルまで、生物の戦略の概念を学ぶ。また、将来の業務に直接関わる可能性がある植生調査の概要について学ぶ。		
キーワード	タンパク質、光合成、窒素同化、進化、ホルモン、環境応答、遺伝子、生態系、生物多様性		
関連する科目	物理・化学、樹木学、樹木医学、森林生態学		
到達目標	—	森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得	
	—	森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得	
	—	多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得	
評価方法	筆記試験60%、レポート30%、履修態度10%		

授業計画	テーマ	講義内容
1	植物生理	草本や木本植物の組織、光合成と呼吸、樹木の世代交代
2	植物生理	草本や木本植物の組織、光合成と呼吸、樹木の世代交代
3	植物生理	草本や木本植物の組織、光合成と呼吸、樹木の世代交代
4	植物生態	生物の系統と分類、生態系と植生の変移、樹木の個体間の相互作用など
5	動植物調査の実際	里山における動植物調査の方法（座学・現地）
6	動植物調査の実際	里山における動植物調査の方法（座学・現地）
7	植物生態	生物の系統と分類、生態系と植生の変移、樹木の個体間の相互作用など
8	試験	

テキスト	講義の際に資料を配付
参考書	
関連する資格	樹木医補
備考	

科目番号	A 1 0 6 A								
科目名	物理・化学								
担当教員	西坂 美樹		所属	兵庫県立佐用高等学校 元校長					
科目区分	一般教養			人材養成の方針	即戦力	リーダー	地域貢献		
対象学年	1年			授業形態	講義・演習				
開講時期	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	単位数	2			
授業時間数	15 コマ			(30 単位時間)					
実務経験のある教員による授業科目	—		左の実務経験の内容		—				
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	—		左の実務経験の内容		—				
実務経験を活かした授業内容									

目的	物理学、化学の基本を身につける。						
概要	(物理学) 運動、力学、エネルギーを中心とした理解と演習。 (化学) 講義で基本事項を学ぶ。						
キーワード	①等速度運動、落下運動 ②運動の法則・力のモーメント ③エネルギー（力学、熱、電気） ④原子、分子、イオン、イオン化傾向、溶液と濃度 ⑤酸、塩基、中和 ⑥気体の性質						
関連する科目							
到達目標	—	森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得					
	—	森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得					
	—	多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得					
評価方法	筆記試験90%、履修態度10%						

授業計画	テーマ	講義内容
1	物理	科学的な考え方
2	物理	一次元の運動（等速度運動・等加速運動）
3	物理	二次元の運動（落下運動）
4	物理	力（力のつりあい）
5	物理	力のつりあい（運動の法則）
6	物理	力（摩擦）
7	物理	力（力のモーメント）
8	物理	仕事
9	物理	見かけの力
10	化学	原子の構造、電子配置、イオン、元素の周期律
11	化学	分子、結合（イオン、共有、金属、化学）、結晶
12	化学	物質の反応、化学反応式、原子量、分子量、式量、物質量
13	化学	酸と塩基、中和等
14	化学	気体の性質
15	試験	

テキスト	資料を配布
参考書	
関連する資格	
備考	

担当： 平野

科目番号	A 1 0 7 A								
科目名	社会学								
担当教員	谷口 俊明		所属等	県立森林大学校 校長					
科目区分	一般教養			人材養成の方針	即戦力	リーダー	地域貢献		
対象学年	1年			授業形態	講義・演習				
開講時期	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	単位数	1			
授業時間数	8 コマ			(1 6 単位時間)					
実務経験のある教員による授業科目	—		左の実務経験の内容	—					
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	—		左の実務経験の内容	—					
実務経験を活かした授業内容									

目的	社会学の調査手法のひとつである社会調査を通じて、社会と個人の関係を把握するための方法と基礎知識を学ぶ。		
概要	意識調査等の社会調査の結果から、現代における個人と社会の関係を中心に現代社会を分析するとともに、アンケートの調査計画の立案、実施、解析を体験することで、社会学的アプローチによるデータ分析等の手法を習得する。		
キーワード	①意識調査、②世論調査、③アンケート調査、④インターネット調査、⑤統計情報		
関連する科目			
到達目標	—	森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得	
	—	森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得	
	—	多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得	
評価方法	提出物80%、履修態度20%		

授業計画	テーマ	講義内容
1	意識調査・世論調査	行政や民間による意識調査の紹介
2	意識調査・世論調査	行政や民間による意識調査の紹介
3	意識調査・世論調査	気になる意識調査を調べてみよう
4	意識調査・世論調査	気になる意識調査を調べてみよう
5	アンケート調査	(1)アンケート調査の特徴、(2)質問項目の作り方、(3)回答のとりまとめ方法、(4)とりまとめ結果の分析方法
6	アンケート調査	学校生活に関するアンケートを作成して実際にアンケート調査を行ってみよう
7	アンケート調査	アンケート結果のとりまとめと解析を行ってみよう
8	まとめ	アンケートの解析結果をプレゼンして、意見交換しよう。

テキスト	初めてでもできる社会調査・アンケート調査とデータ解析（日本評論社 2009）
参考書	
関連する資格	
備考	

科目番号	A 1 0 8 A								
科目名	経済学								
担当教員	谷口 俊明		所属等	県立森林大学校 校長					
科目区分	一般教養				人材養成の方針	即戦力	リーダー 地域貢献		
対象学年	1年				授業形態	講義・演習			
開講時期	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	単位数	1			
授業時間数	8 コマ				(16 単位時間)				
実務経験のある教員による授業科目	—		左の実務経験の内容		—				
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	—		左の実務経験の内容		—				
実務経験を活かした授業内容									

目的	現代の経済を把握するための方法と基礎知識を学ぶ。		
概要	テキストにより経済学の基礎知識について学びます。		
キーワード	①ミクロ経済、②マクロ経済、③行動経済学		
関連する科目			
到達目標	—	森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得	
	—	森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得	
	—	多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得	
評価方法	考查80%、履修態度20%		

授業計画	テーマ	講義内容
1	イントロダクション	経済用語・経済学理論等への理解を深める
2	経済学とは	経済用語・経済学理論等への理解を深める
3	ミクロ経済学	経済用語・経済学理論等への理解を深める
4	ミクロ経済学	経済用語・経済学理論等への理解を深める
5	マクロ経済学	経済用語・経済学理論等への理解を深める
6	マクロ経済学	経済用語・経済学理論等への理解を深める
7	身近にある経済	経済用語・経済学理論等への理解を深める
8	まとめ	経済用語・経済学理論等への理解を深める

テキスト	井堀利宏 「大学4年間の経済学がざっと4年間で学べる」 角川文庫 2018
参考書	大学生のための人生とお金の知恵 (金融広報中央委員会 2019)
関連する資格	
備考	

科目番号	A 1 0 9 A								
科目名	法学								
担当教員			所属等	兵庫県司法書士会					
科目区分	一般教養			人材養成の方針	即戦力	リーダー	地域貢献		
対象学年	1年			授業形態	講義・演習				
開講時期	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	単位数	1			
授業時間数	8 コマ				(1 6 単位時間)				
実務経験のある教員による授業科目	<input checked="" type="radio"/>		左の実務経験の内容		司法書士				
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	—		左の実務経験の内容		—				
実務経験を活かした授業内容	司法書士として対応した具体的な事例を交えながら、山林の相続や雇用契約等、林業に関する法令上の知識や、課題解決の方法についての授業を行います。」また、消費者保護やADRなど、社会人や経営者として役に立つ法律知識も取り上げます。								

目的	法学の基本事項を中心に学ぶ。		
概要	社会生活を行う上で実用的な法律について学ぶ。		
キーワード	①法律学とは・法律の全体像 ②民法 ③その他の法律（不動産登記法、労働基準法など）		
関連する科目			
到達目標	—	森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得	
	—	森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得	
	—	多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得	
評価方法	筆記試験90%、出席状況10%		

授業計画	テーマ	講義内容
1	法学（概論）	司法書士会（法学全体像）
2	民法	民法総則
3	労働法	労働法のポイント
4	物件法	物件法の概要
5	債権法	債権法のポイント
6	ADR	ADRの紹介
7	相続法、親族法	相続法、親族法の概要
8	試験	試験

テキスト	講義の際に資料を配付
参考書	
関連する資格	
備考	

担当： 平野

科目番号	A 1 1 O B								
科目名	保健体育 1								
担当教員	平野 修之		所属等	県立森林大学校 専任教員					
科目区分	一般教養			人材養成の方針	即戦力	リーダー	地域貢献		
対象学年	1 年			授業形態	実習				
開講時期	4 ~ 6 月	7 ~ 9 月	10 ~ 12 月	1 ~ 3 月	単位数	1			
授業時間数	1 5 コマ			(3 0 単位時間)					
実務経験のある教員による授業科目	-		左の実務経験の内容	-					
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	-		左の実務経験の内容	-					
実務経験を活かした授業内容									

目的	レクリエーションスポーツを通じて、体力の維持増進とコミュニケーションスキルの向上を目指す。		
概要	登山、野外スポーツ、体育大会、球技大会		
キーワード	コミュニケーションスキルの向上		
関連する科目			
到達目標	-	森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得	
	-	森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得	
	-	多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得	
評価方法	出席50%、履修態度50%		

授業計画	テーマ	講義内容
1	球技	2年生と交流球技大会
2	体育大会	体育祭練習
3	体育大会	地域の高校との交流体育大会
4	体育大会	地域の高校との交流体育大会
5	体育大会	地域の高校との交流体育大会
6	登山	山登り
7	登山	山登り
8	登山	山登り
9	スポーツ整体	ストレッチ コンディション管理
10	トレッキング	山歩き
11	トレッキング	山歩き
12	スノーシュートレッキング	冬山歩き
13	スノーシュートレッキング	冬山歩き
14	スノーシュートレッキング	冬山歩き
15	球技	2年生と交流球技大会

テキスト	
参考書	
関連する資格	
備考	

科目番号	A 1 1 1 B					
科目名	救急救命					
担当教員				所属等	日本赤十字社兵庫県支部	
科目区分	一般教養			人材養成の方針	即戦力	リーダー 地域貢献
対象学年	1年			授業形態	実習	
開講時期	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	単位数	1
授業時間数	15 コマ			(30 単位時間)		
実務経験のある教員による授業科目	<input checked="" type="radio"/>		左の実務経験の内容	日本赤十字社救急法救急員		
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	<input type="radio"/>		左の実務経験の内容	—		
実務経験を活かした授業内容	救急救命、熱中症の救護、負傷者の救護等に関する、日本赤十字社救急法救急員有資格者による実践講習					

目的	現場において、また普段の生活において不慮の事故や急病の人に遭った場合の救急隊が到着するまでの正しい救命連鎖の方法を学ぶことにより、安全意識の高揚と社会への貢献を図る。	
概要	日本赤十字社の救急法基礎講習及び救急法講習により赤十字救急法救急員を養成する。	
キーワード	①救急法基礎講習（赤十字救急法、一次救命措置） ②赤十字救急法救急員養成講習（赤十字救急法救急員とは、急病、怪我、きずの手当、骨折の手当、搬送、救護）	
関連する科目		
到達目標	—	森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得
	—	森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得
	—	多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得
評価方法	検定試験50%、出席・履修態度50%	

授業計画	テーマ	講義内容
1	救急法基礎講習	赤十字救急法について、手当の基本
2	救急法基礎講習	観察（意識ありの観察）・保温、心肺蘇生
3	救急法基礎講習	AEDの使用法、気道異物除去、基礎講習実技検定・学科検定
4	救急員養成講習	三角巾の基本、三角巾の包帯（額、耳、頭）
5	救急員養成講習	三角巾の基本、三角巾の包帯（額、耳、頭）
6	救急員養成講習	赤十字救急法救急員について、急病への対応、けがへの対応
7	救急員養成講習	きずの手当、三角巾の包帯（額、肩、手）
8	救急員養成講習	包帯（前腕・下腿・膝・腕の吊り方・収納方法）、止血法
9	救急員養成講習	固定法、搬送法、救護、副子を用いない固定、検定要領の説明
10	救急員養成講習	固定法、搬送法、救護、副子を用いない固定、検定要領の説明
11	救急員養成講習	副子固定
12	救急員養成講習	搬送法
13	救急員養成講習	総合演習、実技検定
14	救急員養成講習	学科検定・総括
15	救急員養成講習	学科検定・総括

テキスト	赤十字救急法基礎講習教本、赤十字救急法講習教本
参考書	
関連する資格	日本赤十字社救急法救急員
備考	

担当： 平野